

北九州市立大学への質問事項

中期計画 No.	中間評価	年度評価	項目	質問等
1		○	地域科目の開設等	若干計画よりも順調に見えるが、学生たちが北九州やその地域のことを学んだ後に、そのことによって、どのくらいの学生が、北九州市に残ったり、就職しているのか、どのような影響があるのかを知りたい。
3	○		地域文化科目の開講	もっと具体的な文化資源の活用や、魅力の紹介などを提示してほしい。
5	○		国際環境工学部の再編	2019年度に新教育課程に変わってから、学生たちにどういった変化や影響、成果が出たのかを、今後、データとして欲しい。
10	○		学修時間の確保	このままでは中期目標の達成は難しいのではないかと考える。昨年度と比べると事前事後学習時間は0.5時間近く増加しているが2016年～2018年の間は減少しており今年度の増加が遠隔授業の影響によるものなのか判断が難しい。
11	○		事前事後学修やアクティブ・ラーニング等の推進	教員のFD研修やICTの活用等が学生のアクティブ・ラーニングにどのように結びついているのか実際に授業内容は変化しているのかどうか。
12		○	学修成果の可視化等による内部質保証	教員及び学生の活用促進は具体的にどのように進めたのか。
				システム運用を継続して取り組みを進めていることは評価できるが、取組状況とR2年度の成果について、具体的に示していただきたい。
				コロナ禍の影響がポートフォリオからわかれば素晴らしい。
37		○	アジア地域に関する研究の推進	中華ビジネス研究センターの集大成となったことは理解できるが、香港企業からの寄付金獲得等の記述はこのセクションで読み取れない（後略）
61		○	IRの活用	活用状況が静的である故か、具体的な活用の現状が明確でない点が評価の難しいところである。